一般質問「マンホールの安全対策」について

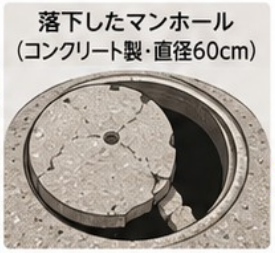
～市民の安全・安心のために、適切な維持管理を～

マンホールは、下水道の点検・清掃のために設置され、
電気・電話・ガス・水道なども地下に埋設されています。
適切な管理が、事故防止につながります。

1 集会施設のマンホール蓋落下について

南田中ふれあいセンターの駐車場で、除雪車が乗り上げたことにより、
コンクリート製のマンホール蓋が割れて落下する事案が発生しました。







今後の対応

これまで（コンクリート製）→ これから（強度の高い蓋）



来年度、除雪車が乗り上げても
割れない蓋に交換予定

2 市道のマンホールの段差改善について

新屋町町会から、「大型トラックの段行でマンホールの段差による音がうるさいので
改善してほしい」との要望がありました。



市道のマンホール（段差のイメージ）

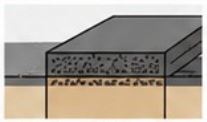
段差ができる主な理由



大型車の通行による
負荷・摩耗で舗装が
すり減る



冬の凍結により
地盤が隆起する
（凍上）



舗装の補修により
地盤の高さに差が
生じる

市の対応



現地調査を行い、マンホール周辺の
舗装補修で段差を解消しました。
今後も町会と連携し、継続して調査・対応します。

主な質疑応答（Q&A）

Q1 落下したマンホールのタイプと原因は？

A 昭和40年代までに設置されたコンクリート製の蓋（タイプ1）。今年3月、除雪車が乗り上げて割れ、落下しました。

Q2 人が乗っても落下する危険は？

A 人や自転車用は耐荷重500kgで、人が乗っても落下しない安全性があります。南田中の蓋も耐荷重500kgのものでした。

Q3 市内で同様の事案は？

A 集会施設でマンホール蓋の落下はありませんが、令和3年に大坊コミュニティセンターで、雨水ますの蓋が破損した事案が1件あります。

Q4 集会施設のマンホールの耐用年数と管理は？

A 耐用年数は一般的に15～30年。敷地内の排水設備等も含め、指定管理により各町会で管理していただいています。今後、各施設の状況を調査し、必要な修繕を行います。

Q5 段差ができる理由は？

A 大型車の通行による摩耗や、冬の凍結による地盤の隆起（凍上）などで段差が生じます。

Q6 段差でマンホールが落下する危険は？

A 蓋は車両等の重量に耐えられる設計のため、段差によって落下する可能性はかなり低いと考えています。

Q7 市内で同様の改善要望は？

A 令和3～5年度で、段差解消の工事を3件、マンホールの高さ調整工事を9件施工しました。段差以外の相談も、個別に対応しています。

Q8 市道のマンホールの耐用年数と管理は？

A 耐用年数は、車道で15年、その他は30年。定期点検や現場パトロールで段差や摩耗を確認し、必要があれば修繕・舗装補修などを行っています。

Q9 耐用年数を過ぎても使い続けて大丈夫？

A 令和2年度に72か所を点検したところ、蓋の破損につながる異常はなく、耐久性があります。今後も定期調査を行い、調査結果を基に必要に応じて交換します（年数だけで一律交換しません）。

**今後も、定期点検・現場パトロール・個別の要望への迅速な対応を行い、
マンホールの安全確保と事故防止に努めていきます。**